

8月4日(火)

手を伸ばしなさい

聖書朗読 詩篇 95:1~9

あなたの神、主であるわたしが、あなたの右の手を堅く握り、「恐れるな。わたしがあなたを助ける」と言っているのだから。 イザヤ 41:13

「僕に君の手を預けてくれないか」（結婚してくれないか）と若者が恋人に言います。「君の人生を僕と過ごしてくれ。僕は君を一生愛するよ」。

「手を伸ばすんだ」と、険しい丘を登ろうとしている妻を助けようと夫が言います。「さあ、手を貸して」。母親が子どもに言います。小さな子どもは母親の手をつかみ、安心してるところです。「手、出して」と子どもは叫び、その友達の方に手を伸ばします。二人の子どもは手に手を取って、スキップをします。

ヨナダブに挨拶をしている時、エフーは「こちらに手をよこしなさい」と言いました。エフーは、「私の心があなたの心に結ばれているように、あなたの心もそうですか」と尋ねました。「そうです」とヨナダブは答えました。「それなら」とエフーは言い、「こちらに手をよこしなさい」と続けました。ヨナダブは手を差し出し、エフーは彼を戦車の上に引き上げました。そして、エフーは「私といっしょに来て、私の主に対する熱心さを見なさい」と言いました（Ⅱ列王記 10:15~16）。

主は、私たちが主と心をつなぐことを望まれています。主は、イスラエルの民にされたように、私たちにも安心や加護をお与えくださいます。主は宣言されます。

『わたし、主は、義をもってあなたを召し、あなたの手を握り』（イザヤ書 42:6）、
「手を伸ばしなさい」という神の言葉に耳を傾けなさい。

讃美歌 285

祈り 愛する神様。私たちがあなたの御手に手を伸ばすことができるようにしてください。私たちが、あなたが与えてくださる宝はこの世が提供するどのようなものより素晴らしいということに気がつきますように。私の手を取り導いてください。

御子の御名を通して。アーメン。

スー・ラタム

カリフォルニア州 アンティロープ
(翻訳 斉藤 雅子)

8月5日(水)

希望を失ったとき

聖書朗読 エゼキエル書 37:1~14

神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け。 詩編 46:1

古代の人々は、全ての希望を失ったと思ったとき、深い絶望に陥りました。彼らは神の法を犯し、神が彼らをあきらめたと知ると、彼らは自分たちが神から離れてしまったことを痛感しました。彼らの家は破壊され、土地は奪われ、彼らは他民族に囚われの身となりました。しかし、神は、まだ希望があることを彼らに教えるため預言者エゼキエルを遣わしました。神はエゼキエルにヴィジョンとメッセージを託しました。

『これらの骨に預言して言え。干からびた骨よ。主のことばを聞け。』

(エゼキエル書 37:4)

『神である主はこう仰せられる。息よ。四方から吹いて来い。この殺された者たちに吹きつけて、彼らを生き返らせよ。』

(エゼキエル書 37:9)

今日、多くの人が絶望して、孤独になり、他の種類の力の囚われの身になっています。多くの人が人生の戦いに倒れ、死んでいきます。しかし、エゼキエルは神の道案内を捜し求める人々のためにメッセージを残しました。『これらの骨に預言して言え。干からびた骨よ。主のことばを聞け。』

再び生きるために、神の息吹——御言葉を受け入れるべきです。そしてそれを私たちの本質の一部にしましょう。それが人生です！

讃美歌 177

祈り お父様。私達が一生懸命あなたの御心を行うよう努力している時、いつも私のそばにいてください。あなた様のメッセージをさまよっている人々に述べ伝えることができるよう勇気と強いやる気をお与えください。イエス様の御名によって。アーメン。

ハロルド・サイモン
テネシー州 ナッシュビル
(翻訳 阿部 やよい)

8月6日(木)

神様にあなたの人生をお任せしよう

聖書朗読 詩篇 25:15~10

主よ、私のたましいは、あなたを仰いでいます。

詩篇 25:1

C.S.ルイスは30歳の時には、無神論者で、キリスト教が誤りであることを証明しようとしていました。ところがこの冒険は、驚くべき結果を迎えることになり、彼は全く変えられて、今日では、キリスト教を代表する人物の1人となりました。彼のケンブリッジ大やオックスフォード大での講義や、ラジオ番組、著作物は、今でもクリスチャンの証し関連の本として重要なものであります。

この、名誉ある著者であり、証し人は、長年にわたり、クリスチャンの思想において、重要な影響をもたらしてきました。ルイスは、イエス様が次のように言われているのを知った時、イエス様を信じました。『わたしの教えは、わたしのものではなく、わたしを遣わした方のものです。だれでも神のみこころを行なおうと願うなら、その人には、この教えが神から出たものか、私が自分から語っているのかがわかります。』(ヨハネ 7:16~17)。イエス様は、神様のみこころを理解したいのなら、神様がおっしゃることをまずやってみなさい、と呼びかけていらっしゃいます。

讚美歌 519

祈り 恵み深い主よ。どうぞ私の生活の中であなたの教えがいつも第一であるように助けてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

スタンレー・E・セイヤーズ
オクラホマ州 ダンカン
(翻訳 鈴木 めぐみ)

8月7日(金)

わたしは神である——あなたは神ではない

聖書朗読 エゼキエル 28:1~10

あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があつてはならない。

出エジプト記 20:3

エゼキエルの神、ツロの王に破滅のメッセージを送ったその人は、エデンの園のアダムの子であり、シナイの山のモーセの子であり、また学校に通っていたスーザンの神でもあるのです。神様のメッセージは「わたしは神である。あなたは神ではない」という、非常にはっきりしたものです。

私たちおとなは時に誤ったことを言います。「私は母親だが、あなたは違う」、
「私は先生だが、あなたは違う」、
「私は上司だが、あなたは違う」、
などと口にします。そして、時に自分が大切な存在であるとうぬぼれ、神様が神であり、自分は神でないことを忘れてしまいます。

不幸なことが起こると、ありがたいことに神様こそが神であることを思い出します。それは、神様が私たちに課した結果であり、方向を見失い、希望を失ったとき、知恵を与え導いてくださるのが神様なのです。

神様こそが私の日々の出来事、激しい悲しみにおける神なのです。私は神様を覚え、そしてその大切な事実を忘れないようにと強く願う子どもなのです。

人生における深い悲しみに立ち向かう勇氣と小さいものへの忍耐を持ち
日々の仕事を達成し、成し遂げたならば
安堵と共に眠る
神様は起きている

——Victor Hugo

聖歌 561

祈り 父よ。お赦してください。あなたは神であり、私は神ではないことをどうか毎朝思い出させてください。

イエス キリストの御名を通して。アーメン。

スーザン・ルビオ
テネシー州 メンフィス
(翻訳 田嶋 雅子)

8月8日(土)

必要なものは愛だけ

聖書朗読 ザヤ書 44:1~8

あなたを造り、あなたを母の胎内にいる時から形造って、あなたを助ける主はこう仰せられる。「恐れるな。わたしのしもべヤコブ、わたしの選んだエシユルンよ。

イザヤ書 44:2

恐怖。気をつけていないと、心が恐怖に奪われてしまいます。恐怖によって、神や周りの人々との関係がおかしくなることがあります。恐怖は、不安や自分勝手な気持ちから芽生えます。

愛することで恐怖に打勝つことができます。

人の態度や言葉は、すべて恐怖か愛のいずれかに由来します。つまり、自分勝手な気持ちか他人を思う気持ちかが表れます。人は、恐れる時、自分のことしか見えません。愛する時は他人のことを見えています。

神の永遠の真実に目を向けることで、人は自分の殻から抜け出すことができます。パウロが言うように、主は近いので、心を天のことに向けるべきです(ピリピ 4:4~8)。このとおりにすれば、自分勝手な気持ちは他人を思う気持ちに変わり、恐怖は愛に変わります。

「恐れるな」という言葉は、聖書に366回書いてあります。つまり、神は1年中1日1回「恐れるな」と語りかけ、さらにもう1回未来に向けて語りかけています。安心してください。愛によってどんなことにも打勝ちます。

恐怖とは

暗く、未知で、

取付き、麻痺させ、気力を失わせます。

真実で、自由をもたらすのは、

愛です。

讃美歌 526

祈り 天のお父様。私に必要なのはお父様だけです。

イエスの御名により。アーメン。

サンディ・ドーリティ

カナダ アルバータ州 カルガリー

(翻訳 泉田 和彦)

8月9日(日)

魂のふるさと

聖書朗読 ヨハネの黙示録 21:1~8

彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。

黙示録 21:4

私は世界中に知られている素晴らしい公園の近くに住んでいます。それで、この地を訪れた人々とイエロー・ストーン公園のことを良く話すことができます。ここを訪れた人々はその時の体験を「心を目覚めさせる」と表現します。しかし、悲しいことですが、そのような人々は、お造りになったお方より、造られたものを崇拜しているように見えます(ローマ 1:25)。

私の限られた想像力では、美しい冬のイエロー・ストーンよりも、天国がどんなに美しいかを想像することは難しいことです。でも、私は、天国が金で飾られた通りや、真珠で飾られた門がある所とは思っていません。私は天国は、罪や涙や悲しみが無いところのように思い描いています。

私は美しい自然の中に住んでいることを神様に感謝します。しかし、イエロー・ストーンは私にとってこの世のふるさとでしかありません。永遠の地はもっともっとイエロー・ストーンより素晴らしいことでしょう！

永遠の世界を待ち望むことは逃避主義の一つでも、願望の一つでもありません。永遠の世界を待ち望むことはクリスチャンが当然望むことなのです。それは、現在のままで、この世を去るということではありません。歴史を読んでご覧下さい。この世で最高の行いをしたものは、やはり、天の御国でも最高であるのです。

—————C. S. Lewis

讃美歌 237

祈り 愛なる神様。この世をこのように美しくお造りくださり感謝します。御子の贖いによって私たちが永遠のあなたと共にあるふるさとに行けることを感謝します。

イエス様によって。アーメン。

ジャネット・アムブローズ

ワイオミング州 イエロー・ストーン公園

(翻訳 山形 静代)